

令和元年度学校歯科保健研修会開催要領

1. 日 時 令和元年8月1日(木)
午前9時30分～12時(受付開始9時00分)
2. 会 場 ザ・ヒロサワ・シティ会館
(茨城県立県民文化センター) 小ホール
〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 697 番地
TEL 029-241-1166
3. 内 容 講演 演題『動物の口はふしぎがいっぱい』
講師 国立モンゴル医学科学大学 客員教授
(岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科 診療講師)
岡崎 好秀 先生
4. 受講料：無料
5. 受講申込み方法
受講を希望される方は、「氏名、所属、職種」を記載の上、7月18日(木)までに、茨城県歯科医師会〔水戸市見和2丁目292 TEL029-252-2561〕あて、ファクスでお申込み下さい。
(ファクス番号 029-253-1075)
6. 駐車場について
駐車場はございますが、自己負担となりますのでご了承願います。催し物により駐車場が満車になる場合がございます。なるべく公共交通機関のご利用をお願いいたします。

令和元年度学校歯科保健研修会受講申込書

参加者氏名	所 属	職 種

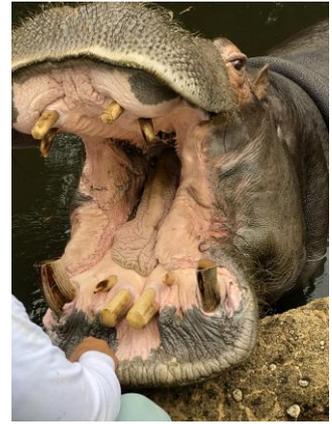
【衛生士会用】

「動物の口はふしぎがいっぱい」

国立モンゴル医学科学大学 客員教授
(岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科 診療講師)

岡崎好秀

<http://leo.or.jp/Dr.okazaki>



私は、小児歯科医です。職業柄、小学校などで歯について話す機会がよくあります。

そこで最も喜ばれるのが“動物の歯”の話です。そのため動物の歯や食性について調べるとともに、歯や口にまつわる“おもしろ話”を集めてきました。

例えば、かつて行楽客がサルにお菓子を与えるので、むし歯が増えるという話がありました。(現在は、マナーが良くなったので減ったそうです。) このような動物の話は、子どもが歯を大切にするきっかけとなります。

現在、日本は超高齢社会を迎えています。動物園の動物達も高齢化していることはご存知でしょうか？これは、飼育環境や技術の発達など現場の方々の努力のおかげです。



さて動物は、最後の最後まで体が弱っているところを見せません。他の肉食動物に悟られると「ジ・エンド」となります。例えば、ライオンは弱ったシマウマから襲うと言われています。

このような習性を持っているため、動物園でも昨日まで元気だったのに急に死ぬのはこのためです。食欲や体重の低下は、もの言わぬ動物からの SOS のサインともいえます。

そこで動物園の飼育担当者は、ちょっとした体調の変化にも気を配ります。そこで、最初にチェックするのが口の中というのです。

本日は、子どもの心に戻ったつもりで、動物の口まつわる話題を通じ、私達の“歯と口の健康”について考えてみましょう。

国立モンゴル医学・科学大学 歯学部 客員教授

(岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センター 診療講師)

岡崎好秀

HP <http://leo.or.jp/Dr.okazaki/> (口の中探検)

E-mail:okazaki@cc.okayama-u.ac.jp

1978年愛知学院大学歯学部卒業 同年大阪大学歯学部小児歯科を経て

1984年より岡山大学病院 小児歯科 講師 (歯学博士 岡山大学)

2013年4月より 国立モンゴル医学科学大学 客員教授

専門：小児歯科・障がい児歯科・健康教育

所属学会等：日本小児歯科学会：指導医

日本障害者歯科学会：認定医 評議員

日本口腔衛生学会：認定医, 他

主な著書：①世界最強の歯科保健指導 上・中巻 クインテッセンス出版

②口の中はふしぎがいっぱい エピソードⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 松風

③小児歯科診療最前線！ 子どもを泣かさない17の裏ワザ クインテッセンス出版

④カミカミ唾液学 少年写真新聞社

⑤クイズで語る おもしろ防煙教育最前線 東山書房

⑥おもしろ カミカミうんち学 少年写真新聞社 他 多数